

# 世界ジオパーク国内候補審査の結果は「保留」。

## 世界認定へ新たなチャレンジ！



阿蘇が世界ジオパークになるためには

2012年9月現在、世界で27か国92地域が「世界ジオパーク」に認定されています。阿蘇が世界ジオパーク

になるためには、もう一段階、世界認定機関の厳しい審査をクリアしなければなりません。

去る8月下旬、2日間にあわって日本ジオパーク委員会から国内における世界ジオパーク候補の推薦基準を満たしているかの現地審査が行われました。

審査員からは、阿蘇の持つ素材の素晴らしさが評価される一方、今後世界認定に向けた課題として「来訪者へ阿蘇の成り立ちを分かりやすく伝え、楽しめ

る仕組みづくり」や、「より多くの住民の積極的な資源の活用」などを指摘されました。

今回、「保留」という審査結果になりましたが、示された課題の改善を図るとともに、より魅力ある阿蘇ジオパークを形成するため、地域の方々と一丸になって、世界認定に向けた取り組みを行うことが重要になってきます。

ジオパークのメリット

世界ジオパーク化のメリットは、第一に「地域の素晴らしさを共有すること」です。住民が地域を知り、誇りを持つことにより地域の持続的な発展に寄与するものです。

また、「世界ジオパーク認定・阿蘇」としての付加価値を、観光など各活用分野にもたらすことが出来ます。特に観光産業分野では、観光ブランドとして観光客や教育旅行などの増加や、ユネスコが支援する世界ジオパークネットワークへの加盟で、世界に阿蘇をPRでき、外国人観光客の増加などを見込みます。

### 世界ジオパークネットワークの認定を目指す阿蘇ジオパーク。

その前段となる国内候補推薦の発表が9月24日にあり、残念ながら「保留」という結果になりました。今年度の審査で見つかった課題への対応と進捗状況を踏まえて、来年度判断されます。

保留になった理由として、『火山と人が作り上げた景観とその歴史を楽しむ阿蘇ジオパークの特徴と、世界ジオパークにふさわしい形を生かせるよう努力が必要である』とのこと。

今月号では、改めて阿蘇ジオパークの役割、活用について、市民の方々に説明します。



現地審査時の様子。

古くから「中岳火口」や、「大観峰（カルデラ縁）」などが観光地として整備されてきました。

雄大な景色や地球のスケールを感じる事が出来る人気の場所です。ジオパークは、そのような場所の「成り立ち」を知ることが出来ます。（例：「なぜ、火口のまわりは植物があまり生えていないのだろう…」「なぜこの巨大なカルデラができあがったのだろう…」）

●阿蘇ジオパークの取り組み①

ジオパークとして、その場所の成り立ちを示した「解説板（日本語、英語）」を整備したり、「専門ガイド（ジオガイド）」を養成して、来訪された方に正しく、分かりやすく伝える活動を行っています。ジオパーク

に住む皆さんが、資源を持続可能な形で積極的に活用していくことが求められています。個々の資源は、阿蘇の成り立ちが分かるストーリーで一つに繋げて、新たな観光ルートをつくり出すことが出来ます。

●阿蘇ジオパークの取り組み②

阿蘇で活躍するガイドや、阿蘇地域の研究者らと一緒にジオパークを楽しむ「ジオツーリズム」のモデルコースを5コース用意しました。

また、地域の皆さんにジオパークのブランドを活用してもらうために、熊本県阿蘇地域振興局の協力により「阿蘇ジオパークブランド認証制度」を設け、今冬からプレスタートします。  
特産物・お土産品・地産メニューなど、阿蘇の素材を使用したり、阿蘇の大地とのつながりが分かる…等の条件を満たす商品を想定しています。

教育・防災の教材として学校教育や、地域の方々が自分たちの住む場所について学ぶ活動にジオパークは活用できます。場所の成り立ちを学び、火山地域の文化や、産業資源として使われてきた歴史や現状を学び、地域の良さを知る人材育成に貢献します。

また、古くから活発に活動してきた中岳火口から放出される有毒な火山ガスに対応する為、世界最高レベルの火山ガス観測体制を構築した火山防災の仕組みや、今回発生した豪雨災害から火山地形により発生しうる土砂災害を伝えていくこともジオパークを防災に活用する一例です。

●阿蘇ジオパークの取り組み③

阿蘇火山博物館やASO田園空間博物館をはじめ、各所においてジオパークを活用した活動プログラムが実施されています。各地域と阿蘇全体との関連など、自らの地域を知る活動にはジオパークを学ぶことが適しています。

また、噴火をはじめ各種災害など、「動いていく」大地との共生のため、ジオパークを災害を学ぶ場所として活用していきます。

阿蘇ジオパーク秋祭り

阿蘇ジオパークの魅力を多くの方々にお伝えするためのイベントを開催します。阿蘇ジオパークについて見て食べて楽しめるコーナーなどを企画しています。

- とき 11月10日(土) 10:00～17:00  
11月11日(日) 10:00～15:00

●ところ 農村環境改善センター (内牧)

●内容

▶ジオスケッチ展

ジオパークに関するスケッチの展示コーナー

▶阿蘇ジオ旅コーナー

阿蘇ジオパークを、個人や家族、団体で楽しめる、ジオツーリズムコースを紹介します。

▶阿蘇ジオフードコーナー

阿蘇ジオパークの食の恵みを、楽しんでください。阿蘇ジオパークブランドの紹介とショコラなどジオスイーツ、ジオランチボックスなどを販売!

▶ジオ体験コーナー

カルデラ実験（阿蘇火山博物館の学芸員）、ベンガラ作り、紙芝居

▶その他各種出展

●問い合わせ ジオパーク推進協議会 ☎34-2089